

3月定例会

閉校校舎の有効活用

旧差首鍋小学校が

生涯学習センターに

3月定例会は3月7日〜13日までの7日間の会期で開かれました。定例会初日には、井上町長が施政方針を述べ、その後、後に条例・補正予算、平成25年度当初予算など36議案を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり可決・承認されました。

一般会計

◆専決処分の報告

歳入歳出予算の総額55億1,200万円に、歳入歳出それぞれに210万円を追加し、55億1,410万円と定める。

◆真室川町監査委員の選任

真室川町差首鍋地区生涯学習センター設置及び管理に関する条例

センターの宿泊と利用者を見込み数について教育課長 宿泊は神室少年自然の家と梅里苑を組み合わせて利用し、センターでの宿泊は考えていない。現在約1,800人が利用。今後、地元及び外部も含め3,000

人の利用を見込む。

問 3,000人利用計画の手立ては、

答 教育課長 ①中央公民館事業を分散しての利用拡大②地元の組織活動。例えば子供会、老人クラブ等の利用拡大③外部より、例えば八丁トンボ視察会、差首鍋館等ふるさと学習



差首鍋地区障害学習センター（旧差首鍋小学校）

での利用拡大を見込んで

問 臨時職員1人の配置というが、できれば生涯学習・社会教育に精通した人材が良いと思うが、

答 教育課長 必要に応じ教育委員会の職員が出向き臨時職員の手助けをしながら養生し育てていく。

- ◆真室川町指定地域密着型サービスの基準を定める条例
- ◆真室川町準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例
- ◆真室川町新型インフルエンザ等対策本部条例
- ◆真室川町指定地域密着型サービスの基準を定める条例
- ◆真室川町準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例

- ◆真室川町町道の構造の技術的基準を定める条例
- ◆真室川町都市公園条例の一部改正
- ◆真室川町公共下水道条例の一部改正
- ◆真室川町町営住宅管理条例の一部改正
- ◆真室川町水道事業給水条例の一部改正
- ◆真室川町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- ◆真室川町学校林の設置、経営及び管理に関する条例の一部改正
- ◆真室川町町村審査会条例の一部改正
- ◆真室川町産業振興条例の一部改正
- ◆真室川町町営住宅設置条例の一部改正
- ◆真室川町公の施設における指定管理者の指定
- ◆真室川町辺地総合整備計画の変更
- ◆町道の認定
- ◆町道の路線変更
- ◆平成24年度一般会計補正予算
- 梅里苑木質チップボイラー設置の件、給湯の仕組みで新設のチップボイラーだけで良いのか、従来のボイラーも使用するのか。
- 答 両方に使用する予定である。
- 問 梅里苑チップボイラー設置に関して多目的使用、暖房、給湯等、この際コテージの暖房も含めてはどうか。
- 答 梅里苑とコテージの間にボイラー設置をするが、コテージには使用しない。
- ◆平成24年度真室川町各種特別会計補正予算

6次産業化に向けて 各施策の充実を!!

平成25年度

各会計当初予算

会計名	予算額	前年度当初予算との比
一般会計	(50億7,200万円) 47億5,300万円	(5.3%) △1.3%
国民健康保険	7,010万円	△10.7%
後記高齢者医療	1億9,970万円	0.8%
介護保険	10億930万円	9.4%
町立真室川病院事業	11億3,100万円	1.5%
水道事業	(5億2,762万円) 4億1,620万円	(△11.2%) △30.0%
公共下水道事業	1億6,180万円	6.4%
まむろ川温泉梅里苑事業	8,900万円	1.1%
合計	(82億6,052万円) 78億3,010万円	(3.7%) △1.7%

※2段書きの上段は、次年度への繰越事業として平成24年3月補正を行った経済対策事業関連を平成25年度に加算して記載しています。

予算審査

平成25年度一般会計当初予算は、前年度に比べ1.3%減額になっています。これは国の緊急経済対策として24年度に大型補正予算が成立したため、町では24年度予算に3億1,900万円もの事業費を前倒しし、雇用と経済の活性化を図ったことによるものです。

問 当町の予算に目玉的なものがあっても良いのではないかと。町長 梅里苑に木質ボイラーの導入を行う。農業については6次産業化を、新たに農協の経営による加工施設の取り組みと最上北部商工会での農業部の立ち上げなどネットワーク創りに取り組む、米だけでなく園芸、畜産も行う。

病院関係では福祉施設ヘルスセンターを運営し産業関係では雇用を含めて梅花園の福祉施設の設立と新たに町業者の立ち上げの予定がある。問 うるしセンター廃止について。産業課長 うるしセンターの目的はうるし産業の育成にあるので、体験機能と体験施設を残して特産振興を図りたい。町長 うるし職員との話し合いの結果、個人の工房で行う。芸工大にも打診したが、だれもいかなかったので中止とした。問 ドクターヘリの臨時離着陸場誘導保守業務負担金とは。総務課長 今年度末までは、町の職員が要請に対応してきたが、業務委託を行うための予算であり、日中役場に常駐する体制をとる。

問 役場から町内に3箇所ある離着陸場まで、への到着する30分間に間に合うのか。総務課長 広域から役場に連絡があつてから、25分程度で到着が可能だが、及位地区については、国道13号線を使えばより近い金山町で対応する。問 こだわり米に対して町の補助の考えは。町長 こだわり米からつや姫への生産の転換とこだわり米の販売強化と食味の向上による販売金額の増加の内容でお願いする。問 真室川音頭発信事業を呼んでの発信事業は、企画課長 出陣子の桂師匠については応援大使になつていただいて町の活

性化とPRということも数年継続していく。問 落語会と地元団体との交流について。企画課長 落語会と真室川音頭の生唄の披露、そして梅子ちゃんのぬいぐるみキャラクターとの取り組みも考えている。問 6次産業化推進事業の農業後継者事業費補助金1,356万3千円について伺う。産業課長 新しい技術、新しい作物、新しい事業に取り組んで頂いて、次の時代を担っていくの時代に経費の支援をしな



こだわり米の収穫